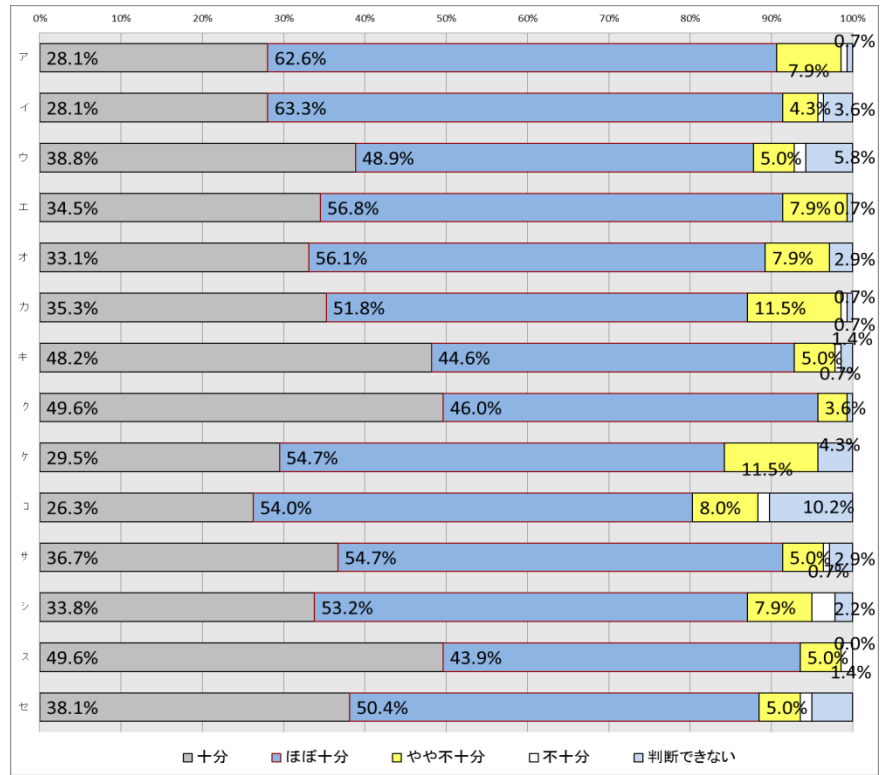


【平成30年度 保護者アンケート結果 (回収率 91.4%) 】(昨年度回収率 93.7%)

ア	全体として、学校の教育活動は満足できる。	3.2
イ	学校は、学校づくりビジョン(めざす学校・めざす子どもの姿)の実現に努めている。	3.2
ウ	学校は、子どもたちに生活や学習上の困難がある場合に適切な指導や支援を行い(特別支援教育)、どの子ども自分の力を発揮して学習や活動に参加している。(「特別支援教育」とは、教育上特別の支援を必要とする児童に対し、学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な教育を行うことです。)	3.3
エ	学校は、基礎基本(読む力・書く力・聞く力・話す力・計算する力)の定着に努めている。	3.3
オ	学校は、課題を解決する学習を工夫し、基礎基本を活用する力や考える力を育てようと努めている。	3.3
カ	学校は、家庭学習(宿題を含む)の定着・習慣化を図れるように(保護者と連携して)取り組もうと努めている。	3.2
キ	学校は、子どもの読書活動の充実に努めている。(朝の読書・読書週間・読み聞かせ・家庭読書の取り組みなど)	3.4
ク	学校は、運動会・修学旅行・遠足・社会見学などの学校行事や人から学ぶ体験活動に子どもたちが(生き生きと)取り組めるように努めている。	3.5
ケ	学校は、基本的な生活習慣、社会生活上のルール及び道徳性を家庭とともに身につけさせるよう努めている。	3.2
コ	学校は、いじめや差別のない、人権や個性を大切にした教育に努めている。	3.2
サ	学校は、健康で安全な生活が送れるための指導に努めている。	3.3
シ	学校は、児童の体力向上のために、運動に親しむ活動や体育の授業の充実に努めている。	3.2
ス	学校は、通信や便り(学校・学年・学級)・HPなどで学校や子どもの様子を伝えることに努めている。	3.4
セ	学校は、保護者や地域の人々と一緒に子どもを育てる取り組みに努めている。	3.3



【保護者アンケートの考察及び今後の取り組み】 * () 内は、昨年度比

◎ 全体として

昨年度に比べて、「十分」「ほぼ十分」の割合はあまり変化がありません。ほとんどの項目において、「十分」「ほぼ十分」の回答率が85%以上になっています。ア「全体として、学校の教育活動は満足できる。」及びイ「学校づくりビジョンの実現に努めている」については、昨年度に比べて、アの項目は-5ポイント、イの項目は+1ポイントと変化はあるものの、依然90%以上の高い値となっています。今後も、学校づくりビジョンの実現に向けた継続的な教育活動の取り組みを進めていきます。ただ、項目においては、「十分」「ほぼ十分」の割合が他の項目と比較すると低いものがあり、経年変化を捉えながら、その原因等を考察し、今後の改善につなげていきたいと考えています。

エ「学校は、基礎基本(読む力・書く力・聞く力・話す力・計算する力)の定着に努めている。」

オ「学校は、課題を解決する学習を工夫し基礎基本を活用する力や考える力を育てようと努めている。」

エの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が91%(+2ポイント)でした。また、オの項目も89%(+3ポイント)と学力に関する評価が上がっています。今後も、学力向上に向けた取り組み(「少人数学習」や「朝の学習」,「問題解決能力の育成をめざした授業づくり」等)を更に充実させ、子どもたちに確かな学力を身に付けさせていきます。

カ「学校は、家庭学習(宿題を含む)の定着・習慣化を図れるように(保護者と連携して)取り組もうと努めている。」

キ「学校は、子どもの読書活動の充実に努めている。」(朝の読書・読書週間・読み聞かせ・家庭読書の取り組みなど)

カの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が87%(-1ポイント)、キの項目は93%(+1ポイント)でした。家庭学習の充実については、宿題を中心とした復習による学力定着とともに、自主勉強を含めた学習習慣の確立を目指しております。また、学校における読書活動の充実については、朝読書や読書週間の取り組み(図書委員会や図書ボランティア等による活動)を継続して行っております。また、家庭読書の取り組みも行い、ご家庭と協力しながら読書活動の推進を図っています。学習習慣(6年生の時点で1時間以上)や読書習慣(1日10分以上)が学力に関連しているとの調査結果もあり、今後も中学校と連携した「生活習慣・読書チェックシート」「ノーテレビ・ノーゲーム・ノー携帯デー」の取り組みを継続していきます。子どもたちによりよい学習習慣や読書習慣が身に付くように、学校と家庭との更なる協力をよろしくお願いいたします。

ケ「学校は、基本的な生活習慣、社会生活上のルール及び道徳性を家庭とともに身につけさせるように努めている。」

コ「学校は、いじめや差別のない、人権や個性を大切にした教育に努めている。」

ケの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が84%（-1ポイント）でした。コの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が80%（-4ポイント）でした。児童アンケートの項目「いじめはぜったいにいけないことだと思います。」では、「十分」の割合が昨年度に引き続き100%でした。「いじめはいけない。」ことは、どの児童にも理解されています。いじめをなくす仲間づくりの取り組みとして、いじめ防止の標語づくりを昨年度より全員参加で行っております。他にも人権を大切にすることを目指した「花いっぱい運動」や人権ポスター、人権作文にも取り組んでおり、その成果が表れていると思います。今後も更なる規範意識、人権尊重の意識を育む取り組みを進めてまいります。また、日々の仲間づくりの様子を発信したり、道徳の授業を公開する機会を設けたりして、子どもたちの様子を知っていただき、子どもたちが学校でも家庭や地域でも豊かな心づくりができるように環境づくりに努めていきます。

サ「学校は、健康で安全な生活が送れるための指導に努めている。」

シ「学校は、児童の体力向上のために、運動に親しむ活動や体育の授業の充実に努めている。」

サの項目は昨年度に比べ、「十分」「ほぼ十分」の割合が91%（-1ポイント）、シの項目は87%（-3ポイント）と、やや減少しています。今年度も、体育の授業開始の5分間運動や、業間マラソン、休み時間における外遊びの設定等、子どもたちの体力の向上に向けた活動を引き続き行っていますが、体育や休み時間を中心に、更なる効果的な体力作りの取り組みを行ってまいります。

ス「学校は、通信や便り（学校・学年・学級）・HPなどで学校や子どもの様子を伝えることに努めている。」

セ「学校は、保護者や地域の人々と一緒に子どもを育てる取り組みに努めている。」

スの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が94%（-2ポイント）でした。週1回程度の学校だよりや、ほぼ毎日更新している学校ホームページ等が十分に評価された結果だと思えます。今後も、子どもたちの様子や活動内容を積極的に情報提供していきたいと考えます。

セの項目は、「十分」「ほぼ十分」の割合が89%（+2ポイント）でした。すくすくサポートを中心とした各学年における地域と連携した活動や地域との合同防災訓練等、本年度もたくさんの方々にご協力いただき感謝しております。今後も保護者や地域の方々との連携を深めながら、児童の貴重な体験となる取り組みを進めていきたいと思えます。

【個人的にお寄せいただいたご意見】（抜粋）

- **育成会、自治会、PTA活動、地域の人々学校・・・担当者以外は分からないことが多く、情報の共有化が不十分に感じています。これまでではなく、これからのために学校、保護者、地域の人々と一緒によい活動を行うためには情報の共有化をお願いします。**⇒ 育成会、自治会、PTA活動、学校ボランティアなど、子どもたちの育成には、様々な団体に関わっていただき、様々な活動を行っています。共同で行っているものもあれば、独自の活動もあり、多岐にわたる活動を一元的に把握することは確かに難しくなっています。将来的には、全国で設置を目指している「地域学校協働本部」という大きな枠組みの中で学校もその中の一員として活動していく形になります。よりよい社会をつくる、よりよい子どもたちを育成する、という各団体の目的は同じですので、お互いの団体が情報共有を図り、どの団体を窓口にしても活動が分かりやすくなるように、学校として保護者の方々の意見を伝えていきたいと思えます。
- **持久走記録会は距離を競うより学校内でいいので距離を決めた上で順位をつけた方がいいです。中学生になれば順位をつけられることは当たり前なのでマラソンで輝ける行事があった方がいいです。**
- **持久走記録会と六送会は以前の取組の方が良いと感じました。**⇒ 学校行事につきましては、行事も教育活動の一環として、子どもたちに付けさせい力をまず一番に考えて計画を立てています。付けさせたい力とその方法を考えるときに、参加していただく保護者の方々の意見も尊重して、改善していきたいと思えます。貴重なご意見を今後もよろしく願いいたします。

学校づくり協力者会議からの意見等

- 基礎基本の習得のためにも少人数授業の継続をお願いします。
- 読書は楽しいと思う児童が増加している点は高く評価できる。「豊かな心」を育て、お互いを認め合うために、自分の好きな本で感じた点を伝え、感じ方の違いを認め合うことが大切だと思う。
- なわとび週間などの他に、目標を持たせ積極的に楽しく運動させる工夫をしてもらいたい。
- 各学年における地域と連携した活動を今後も継続して行ってほしい。学校・地域・家庭とで子どもたちを育てていく取り組みを希望する。